

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	外科動物看護実習Ⅱ		担当教員 (実務経験)	前鼻 彰人	
				有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	23	時間数 45時間
授業目的	外科動物看護学Ⅰ、外科動物看護学実習Ⅰで学んだ知識を基に実践に沿った応用力を修得する。				
到達目標	実践能力に応用力を用いて、正確性、迅速性を身につける。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠動物看護実習テキスト(第3版) 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ8巻 動物栄養学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度を含みます。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	危険物管理	医療廃棄物の実際		
	2	手術前準備 1	術前検査		
	3	手術前準備 2	食止、飲水、排尿管理		
	4	手術前準備 3	痛みの管理		
	5	術中の補助 1	動物看護師として関わる外回り		
	6	術中の補助 2	五感を使ったモニタリング		
	7	術中の補助 3	バイタルチェック		
	8	術中の補助 4	直接的な補助者の行動		
	9	術中麻酔に関する基礎知識 1	麻酔のモニタリングと機器の知識		
	10	術中麻酔に関する基礎知識 2	モニター機器の見方		
	11	術中麻酔に関する基礎知識 3	麻酔記録の書き方		
	12	術中麻酔に関する基礎知識 4	麻酔の導入から覚醒までの補助に必要な行動の確認		
	13	術後の管理 1	動物の観察と看護・小テスト		
	14	術後の管理 2	痛みの知識、痛みの観察と管理、痛みの評価		
15	衛生管理 1	包帯法の基礎知識			

履修主題・履修内容	16	衛生管理 2	術創の保護に必要な知識、創傷管理の為の器材
	17	救急救命法 1	人工呼吸
	18	救急救命法 2	心マッサージ
	19	救急救命法 3	挿管時の保定
	20	理学療法の基本知識 1	理学療法の目的
	21	理学療法の基本知識 2	運動療法としての実際 ・ 小テスト
	22	理学療法の基本知識 3	ROM測定演習
	23	理学療法の基本知識 4	リハビリテーション演習
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	動物看護総合実習Ⅱ		担当教員 (実務経験)	動物看護学科教員 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 4単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	60	時間数 120時間
授業目的	講義・学内実習で学んだ知識と技術を基に、実務経験を通して総合的な動物看護、動物医療が実践できる為の基礎能力を習得する。				
到達目標	①臨床症例を見ることで実践に役立つ知識と技術の修得 ②獣医療現場から専門職としての意識を学ぶ				
テキスト・ 参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	実習日誌:20% 評価表:40% レポート:20% 報告会:20%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	100%			
履修上の 留意事項	看護実習着				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1 2	実習前オリエンテーション 1	実習に必要な基礎知識の復習		
	3 4	実習前オリエンテーション 2	実習に必要な基礎知識の復習		
	5 6	実習前オリエンテーション 3	実習に必要な基礎知識の復習		
	7 8	実習前オリエンテーション 4	実習に必要な基礎知識の復習		
	9 10	実習前オリエンテーション 5	実習に必要な基礎知識の復習		
	11 12	動物病院実習	食餌に関する看護及び技術の実践排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学手術後の器具洗浄、滅菌の実践		
	13 14	動物病院実習			
	15 16	動物病院実習			
	17 18	動物病院実習			
	19 20	動物病院実習			
	21 22	動物病院実習			
	23 24	動物病院実習			
	25 26	動物病院実習			
27 28	動物病院実習				
29 30	動物病院実習				

履修主題・履修内容	31 32	動物病院実習	<p>食餌に関する看護及び技術の実践排泄介助技術の実践 創傷管理技術の実践 投薬技術の実践 生体機能管理技術の実践 感染予防への配慮と院内清掃、消毒の実践 周術期の看護技術の実践 動物の臨床検査補助の実践 内用、外用薬各種の名称、投薬量計算、薬の計量方法、分包方法の実践 術前の準備の実践 動物の手術補助、麻酔管理の見学手術後の器具洗浄、滅菌の実践</p>
	33 34	動物病院実習	
	35 36	動物病院実習	
	37 38	動物病院実習	
	39 40	動物病院実習	
	41 42	動物病院実習	
	43 44	動物病院実習	
	45 46	動物病院実習	
	47 48	動物病院実習	
	49 50	動物病院実習	
	51 52	実習報告 1	パワーポイントの作成
	53 54	実習報告 2	パワーポイントの作成
	55 56	実習報告 3	パワーポイントの作成
57 58	実習報告 4	パワーポイントの作成	
59 60	実習報告 5	全校発表	

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	愛玩対策Ⅱ	担当教員 (実務経験)	佐藤 真帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	45時間
授業目的	愛玩動物飼養管理士1級の合格レベル、知識を覚える。				
到達目標	愛玩動物飼養管理士1級に合格する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物飼養管理士1級教本第1巻・第2巻課題報告問題集				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	その他:授業への取り組み姿勢や授業態度が含まれます。		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	就職活動に関する必要な知識を学び、個々の就労意識を高めていく。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	動物愛護論Ⅱ 1	日本における動物愛護運動の歴史と展望 ①		
	2	動物愛護論Ⅱ 2	日本における動物愛護運動の歴史と展望 ②		
	3	動物関係法令 1	動物と法律 ・ 飼養動物と関係法令 ・ 野生動物と関係法令 ①		
	4	動物関係法令 2	動物と法律 ・ 飼養動物と関係法令 ・ 野生動物と関係法令 ②		
	5	動物の行動と社会 1	行動とは何か、社会とは何か		
	6	動物の行動と社会 2	問題行動とその予防と対処		
	7	犬と猫の栄養学 1	栄養素とその機能		
	8	犬と猫の栄養学 2	犬と猫が必要とする栄養素		
	9	犬と猫の栄養学 3	ライフステージと栄養 ・ 犬と猫のペットフードの進展		
	10	動物の遺伝と繁殖生理	動物の遺伝 ・ 動物の繁殖生理 ・ 小テスト		
	11	動物の疾病とその予防 1	犬の疾病とその予防 ①		
	12	動物の疾病とその予防 2	犬の疾病とその予防 ②		
	13	動物の疾病とその予防 3	猫の疾病とその予防 ①		
	14	動物の疾病とその予防 4	猫の疾病とその予防 ②		
15	動物の飼養管理と公衆衛生	人と動物の共生に必要な公衆衛生・人と動物の共通感染症とその対策			

履修主題・履修内容	16	自然と人間	自然環境と世界の動き ・ 自然環境と人間のかかわり
	17	検定対策 1	課題報告問題
	18	検定対策 2	課題報告問題
	19	検定対策 3	課題報告問題
	20	検定対策 4	課題報告問題
	21	検定対策 5	課題報告問題 ・ 小テスト
	22	検定対策 6	課題報告問題
	23	検定対策 7	課題報告問題

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

動物看護学科

授業科目 (科目ID)	グルーミング実習Ⅲ		担当教員 (実務経験)	トリマー学科教員		
	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>					
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	グルーミングの目的と必要性を理解し、グルーミングの基礎技術を習得する。犬や猫に負担を与えない様保定し気持ちを考えて作業する。					
到達目標	グルーミング技術の習得 保定技術の向上					
テキスト・ 参考図書等	実習着・エプロン・グルーミング道具・ウィッグ					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	60%	試験：授業内で試験を行う。または課題での評価を行う。			
	レポート	%				
	小テスト	40%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	講義内容は進度により変更する事があります。 ウィッグを使用して授業を進行する場合があります。 当日のモデル犬種により授業内容が変更になる場合があります。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1 2	グルーミング実習 1	足裏中クリッパー			
	3 4	グルーミング実習 2	足裏中クリッパー			
	5 6	グルーミング実習 3	足裏中クリッパー			
	7 8	グルーミング実習 4	足裏中クリッパー・クリッパーの入れ方確認			
	9 10	グルーミング実習 5	ブラッシング (抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化)①			
	11 12	グルーミング実習 6	ブラッシング (抜け毛・もつれ・毛玉などの処理を強化)②			
	13 14	グルーミング実習 7	ペISING (皮膚の状態に合わせた作業)①			
	15 16	グルーミング実習 8	ペISING (皮膚の状態に合わせた作業)②			
	17 18	グルーミング実習 9	ドライグ (犬種や毛質に合わせた作業)①			
	19 20	グルーミング実習 10	ドライグ (犬種や毛質に合わせた作業)②			
	21 22	グルーミング実習 11	部分カット (足回り・ひげカット中心)①			
	23 24	グルーミング実習 12	部分カット (足回り・ひげカット中心)②			
	25 26	グルーミング実習 13	部分カット (足回り・ひげカット中心)③			
	27 28	グルーミング実習 14	部分カット (足回り・ひげカット中心)④			
29 30	グルーミング実習 15	部分カット (足回り・ひげカット中心)⑤				

授業科目 (科目ID)	グルーミング実習Ⅲ	担当教員 (実務経験)	林 恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー
対象年次・学期	2年・前期	担当教員	中山 聡士
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー
		担当教員	高畑 利江
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー
		担当教員	中下 由衣
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー
		担当教員	鹿内 千夏子
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トリマー
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>